

1993年2月4日

乗り心地と滑走性能を両立

高速スポーツボート
ヤマハ『SR-27 OSP』
(オーエスピー)
新 発 売

ヤマハ発動機株式会社では、時速90kmを超える高速滑走性能と快適な乗り心地を独自の技術で両立させたスポーツボート『SR-27 OSP』を開発した。

*

マリンレジャーの普及にともない、ボートिंगのスタイルも多様化、細分化している。ニューモデル『SR-27 OSP』は、走りの質をも楽しむ高感度なボートिंग・ファンを対象に開発された高速スポーツボートである。

軽荷時（必要最小限の艀装・燃料・人員等を搭載した状態）で51.9ノット（約96.1km/h）という『SR-27 OSP』の最高スピードは、ベテランボートマンの高い要求に応え、新鮮な走行感を実現したもの。

本来、高速性と乗り心地は相反する要素であるが、『SR-27 OSP』では船体デザインに当社独自の「二相船型」を採用したほか、随所にテクノロジーを結集し、これまでの高速スポーツボートでは得られなかった「ソフトでドライ（波をかぶりにくい）な乗り心地」や高水準の「操船性」、「耐航性」を実現した。

*

本モデルは、'93ニューモデルとして2月9日より発売するとともに、第32回東京国際ボートショー（2月9日～14日）及び第8回大阪国際ボートショー（2月19日～22日）において発表展示する。

< 東京店頭渡し希望小売価格 > 18,302,000円

（ヤマハ・ガソリンエンジンYE-5.7L・260馬力×2基搭載、
平水限定沿海法定安全備品を含む、消費税別）

< 販 売 計 画 隻 数 > 45隻/3年

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500
東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座

TEL.0538
TEL.03

FAX.0538
FAX.03

< 主な特徴 >

アメリカン・テイストのスタイル

- ・ 外観はアメリカン・テイストを意識したデザインとし、船体カラーリングは鮮やかな濃紺系を採用、真紅のストライプを配している。

スピード性、快適性、操船性を追求した船型

- ・ 船底前部と後部で異なる船底勾配を持つ二相船型^{*}を採用。優れた滑走性能とソフトな波切り感を両立させた。
*二相船型：鋭いV形状の前半部とよりフラットな後半部をスムーズに継ぎ合わせたヤマハ・オリジナルの船底形状。前半部が波当りをやわらかくし、後半部は卓越した滑走性を発揮する。
- ・ 船底後部に段差を設け、走行時の重心位置を後部に移すことに成功。大幅な速度向上を得た。
- ・ 新形状のフラップ（走行姿勢制御板）の開発に成功。効率良く安定した走行を実現し、従来型の問題点を解決した。
- ・ 船底部には圧縮強度の高いバルサを芯材に使用。その両面をFRPで覆う「バルサ・サンドイッチ構造」を採用し、船体の剛性と耐久性を増した。

海を存分に楽しむための装備

- ・ 高音質で耐久性の高いヤマハマリンオーディオを標準装備とした。
- ・ サンパッド（日光浴用のマット）を兼ねたエンジン・ハッチに電動ハッチリフターを装着したため容易に開閉でき、エンジンのメンテナンスもしやすい。
- ・ ダイビングフィン（足ひれ）を付けたまま使用できる新しい形状のスイミングラダー（乗降用梯子）を採用した。
- ・ 風防は、剛性に優れ、クリアな視界が得られる強化曲面ガラスを採用した。

シンプルで高級感あるキャビン・インテリア

- ・ 内装カラーはブルーを基調とし、天井には淡いベージュを採用。シンプルでいながらムードのあるキャビンとした。
- ・ シートは肌ざわりが良く高級感のある起毛材を採用し、5人がゆったり座れるスペースを確保した。
- ・ 独立したトイレルームをキャビン内に設置した。

< 主要諸元 >

全	長	: 8.25m
全	幅	: 2.67m
全	深	さ : 1.45m
総	ト	ン 数 : 5トン未満
艇	体	重 量 : 2,730kg
燃料	タンク	容量 : 440 ℓ
清水	タンク	容量 : 55 ℓ
搭載	エンジン	: ヤマハ YE-5.7L (260ps×2基)
定	員	: 8名
航	行	区 域 : 限定沿海

< カラーリング >

デ ッ キ	ジャパンプルー + ピュアホワイト + ローグロスグレー
ハ ル	ジャパンプルー + ピュアホワイト